

兵庫型「体験教育」の充実・改善方策を検討するに

当たっての主な論点（案）

- 兵庫型「体験教育」を行う意義や目標はどのようなものか
 - －兵庫型「体験教育」の独自性はどのようなものか
 - －兵庫型「体験教育」を通じてはぐくむ資質や能力はどのようなものか
(※資料10参照)
 - －また、その評価はどのように行うことが考えられるか
 - －学校や地域社会にとって兵庫型「体験教育」はどのような意味をもっているか

- これまでの実践や新しい学習指導要領を踏まえ、兵庫型「体験教育」の内容をどのように改善・充実していくか
 - －兵庫型「体験教育」は児童生徒の発達の段階に即したものとなっているか
 - －小・中・高等学校の各段階でどのように充実していくべきか
 - －兵庫型「体験教育」を学校教育活動の中でどのように位置づけるべきか

- 兵庫型「体験教育」の実施体制をどのように改善・充実していくべきか
 - －小・中・高等学校の各段階でどのように改善・充実していくべきか
 - －「マンネリ化」として、学校側の事業関係者への丁寧な説明の懈怠、事業関係者側の毎年の同じ取組への飽き等が指摘されるが、どのように改善を図るべきか。